

【常設展示室 ①】 うつしとる ー光・時間・情報・動き

光、時間、情報、動き等、私たちの日常には多くの実体を持たない要素が身の回りに存在しています。本展では、このような非物質的な要素をモチーフに扱う表現を、戦後日本の現代美術の新収蔵作品3点を含む14作家による23点の作品で紹介します。

石田尚志の《REFLECTION》では、ギャラリーの壁面をカンヴァスに、窓から差し込む光の移ろいが写し取られています。杉本博司の《U.A. リトルネック、ニューヨーク》は、映画一本分の映像を長時間露光撮影することにより、「時間の視覚化」を試みており、若林奮の《100粒の雨滴II》では、幾重にも重ねた植物の葉や枝の上に雨が降り注ぐイメージを銅板等によって作品化することで、堆積の厚みやその様子から時間の経過を連想させます。三島喜美代の《Newspaper》

では、英字新聞で何かを包んだ様子を形づくり、壊れやすい陶芸作品の新聞紙と情報化社会への不安が結び付けられています。白髪一雄の《地威星百勝将韓滔》は、天井から垂らしたロープにつかまり、床に広げたカンヴァス上に足を滑らす動作によって作品を描きました。また新収蔵作品の上田薫《液体》や《皿の上の炎》、鬼頭健吾《cosmic dust gold》も本展の中で合わせてご紹介いたします。

日常に存在する光、時間、情報、動きという4つの非物質的な要素が多様な方法で表現されるこれらの作品を通して、捉え難い対象に向き合う作家たちの思索の柔軟性や奥深さを感じていただければ幸いです。

作品リスト

【※】: 令和5年度新収蔵作品
番号/作家名/制作年/作品名/素材・技法/寸法(縦×横×高または奥行、直径×高)cm または上映時間

1	山中信夫	マンハッタンの太陽	1980	カラー写真/各 20.4×25.4	
2	山中信夫	東京の太陽	1980-81	カラー写真/各 25.4×30.4	
3	石田尚志	REFLECTION	2009	Blu-ray/オリジナル: HD ビデオ(カラー、サウンド)/6分	
4	高松次郎	No.190	1967	ラッカー・板・フック/33.0×24.0	
5	高松次郎	No. 371	1972	ラッカー・パネル/61.0×50.0	
6	若林 奮	100粒の雨滴II	1976-77	銅・真鍮・鉄/17.1×50.0×50.0	
7	上田 薫	液体	1991年頃	油彩・カンヴァス/181.8×227.3【※】	
8	上田 薫	皿の上の炎	1988	油彩・カンヴァス/181.8×227.3【※】	
9	加納光於	稲妻捕り	1977	リトグラフ・紙/各 62.0×50.0 (PF-No.3、PF-No.9、PF-No.12)	
10	加納光於	Illuminarion-1986	1986	リトグラフ・紙/各 65.8×50.4 (PF-7、PF-8)、76.8×56.8 (L-No.18)	
11	杉本博司	U. A. リトルネック、ニューヨーク	1976	セラチンシルバープリント/65.5×83.5	
12	河原 温	NOV. 18, 1987 TODAY シリーズ(1966-2013) より	1987	アクリル・カンヴァス/45.7×61.0	
13	金氏徹平	Day Tripper (Sculpture of Photograph of Paint #4)	2010	プラスチック、写真、ホットグルー 89.5×92.0×91.0	
14	三島喜美代	Newspaper	1972-73	シルクスクリーン・陶土/20.2×29.5×16.8 他5点	
15	宇佐美圭司	半島、ほとんどヘレンケラーのように	1965	油彩・カンヴァス/222.0×175.0	
16	宇佐美圭司	4人の同一化	1971	油彩・カンヴァス/240.0×410.0	
17	宇佐美圭司	日々を往き返路を駆ける No.1	1983	油彩・カンヴァス/141.5×199.5	
18	鬼頭健吾	cosmic dust	2002	油彩、アルミニウムパウダー・カンヴァス 130.5×130.5	
19	鬼頭健吾	cosmic dust gold	2008	油彩、ラメ・カンヴァス/160×160【※】	
20	金山 明	作品	1958	油彩・カンヴァス/130.0×89.0	
21	白髪一雄	地威星百勝将韓滔	1961	油彩・カンヴァス/193.9×130.3	
22	石田尚志	夏の絵	2010	Blu-ray/オリジナル: HD ビデオ(カラー、サウンド)/4分30秒	
23	石田尚志	3つの部屋 音楽のある部屋	2010	Blu-ray/オリジナル: HD ビデオ(カラー、サウンド)/26分10秒	

2024年 4月6日(土) - 7月7日(日)

開館時間: 9:30 ~ 17:00 (ただし、特別展開催期間 4/20 ~ 6/16の金・土は19:00まで)
休館日: 月曜日(ただし、4/29[月・祝]、5/6[月・振休] 開館、4/30[火]、5/7[火] 休館)

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL:087-823-1711

ギャラリーートーク 6月22日(土) 14:00 ~
[学芸員による解説] ※要観覧券

【常設展示室 ②】 讃岐漆芸が見せる自然美

茶道具や食器等、生活に息づいた漆芸作品は、季節が感じられる自然の風景やその中に生きる動植物が好んで選ばれてきました。これらのモチーフは、絵画的な表現ができる讃岐漆芸の三技法とも相性が良く、様々な作品に登場します。本展では、讃岐漆芸に見る自然美の表現の数々を、新収蔵作品1点を含む、20作家による32点の作品を紹介します。

磯井如真の《乾漆蒔罽水指 瀬戸内海之図》は、高松から見た瀬戸内海のパノラマ風景がぐるりと描かれています。第3回日展で特選を受賞した岡田章人の《蒔罽雪柳之圖手筈》では、雪柳の小さな花が蒔罽の技法で一つ一つ克明に表現されています。小筆筥の側面に木立を配した山下楊哉の

《彫漆飾筆筥 木立》は、彫漆による自由なフォルムと背景の青緑色がアクセントとなっています。新収蔵となる山下義人《「山滴る」蒔罽箱》は、夏の山を流れる四万十川を鮮やかな色で見せるもので、川の水面や流れが繊細な蒔罽の技法で表されています。《「山滴る」蒔罽箱》のシリーズ作である、萌え出づる春の山をテーマにした《蒔罽箱 山笑う》や、蒔絵と蒔罽の技法を組み合わせることで表現された初期の代表作《清海文箱 遥》等、他の山下作品と合わせてご紹介いたします。

繊細な点彫り蒔罽で写実的に、大胆な彫漆で意匠的に、と様々な表現された自然美を通して讃岐漆芸の表現の豊かさをお楽しみください。

作品リスト

番号／作家名／作品名／制作年(表記のないものは不詳)／寸法(縦×横×高または奥行、直径×高)cm
※技法・材質は全て漆

1	玉椿象谷	讃岐彫堆朱 手向山香盒	1852 / 7.7×2.6	17	大島唯史	深秋	1957 / 45.5×45.5×5.0
2	石井磐堂	堆朱香盒 葦蟹之図	1927 / 6.3×3.0	18	真子実也	漆器 枳彫蒔罽 貝文 箱	1949 / 19.8×27.4×12.4
3	鎌田稼堂	堆朱 クモ 香合	7.3×2.8	19	高橋静道	草花図 彫漆硯文筥	13.6×25.4×11.1
4	音丸耕堂	堆朱南瓜文色紙箱	1949 / 27.8×30.7×4.7	20	磯井正美	蒔罽存清 備讃瀬戸 箱	1982 / 17.0×27.0×10.8
5	山下楊哉	彫漆手筈 菜花文	1954 / 30.6×27.6×22.8	21	太田 儔	籃胎 存清 短冊箱 連翹之圖	1987 / 39.0×16.9×5.8
6	山下楊哉	彫漆飾筆筥 木立	36.5×27.2×29.9	22	太田 儔	籃胎蒔罽 双色紙箱 潮騒	1991 / 52.0×30.0×7.5
7	山下楊哉	椿 彫漆香盆	32.1×4.9	23	伊賀寛泰	彩漆蒔罽飾箱 秋彩	1990 / 13.7×30.1×16.8
8	磯井如真	乾漆蒔罽水指 瀬戸内海之圖	1949 / 20.3×12.0	24	山下義人	清海文箱 遥	1978 / 25.0×14.1×15.5
9	谷澤不二松	紫陽花之圖 彫漆手筈	1940 頃 / 38.0×30.5×15.0	25	山下義人	蒔罽箱 水烟る	1987 / 12.0×24.0×11.0
10	岡田章人	蒔罽雪柳之圖手筈	1947 / 29.0×18.3×19.6	26	山下義人	蒔罽色紙箱 波がさわ	1988 / 30.1×37.2×5.3
11	岡田章人	彫漆花鳥文筥	1965 / 21.5×11.0	27	山下義人	蒔罽箱 くれない	2005 / 13.5×26.5×13.5
12	浅田真水	蒔罽草花文彫漆箱	23.3×11.7×11.7	28	山下義人	蒔罽箱 山笑う	2011 / 26.5×13.5×13.5
13	真鍋光男	熊笹 八角盆	1953 頃 / 39.5×39.5×3.2	29	山下義人	「山滴る」蒔罽箱	2014 / 13.0×26.0×13.5
14	真鍋光男	蘭の花 茶ひつ	1953 頃 / 42.5×42.5×22.7	30	大谷早人	籃胎蒔罽 文箱	1989 / 24.4×30.6×5.6
15	明石朴景	蒔罽 待春 手爐	1960 / 24.8×25.0×28.0	31	大谷早人	籃胎蒔罽 十二角食籠 蝶蜻蛉	2013 / 20.6×20.6×15.5
16	明石朴景	乾漆 火の山 平壺	1960 / 74.5×44.8×32.5	32	藤田正堂	彫漆蒔罽流文盛器	2002 / 44.8×3.8

2024年 4月6日 [土] - 7月7日 [日]

開館時間：9:30～17:00(ただし、特別展開催期間4/20～6/16の金・土は19:00まで)
休館日：月曜日(ただし、4/29[月・祝]、5/6[月・振休]開館、4/30[火]、5/7[火]休館)

〒760-0027 香川県高松市紺屋町10-4 TEL:087-823-1711

ギャラリートーク 6月22日(土) 14:00～
[学芸員による解説]※要観覧券